



何でも無料生活相談実施中
 e-mail: urano@jcp-seven.jp
 携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ: <http://urano-satomi.jp>
 
 ●Twitter: @urano_satomi
 ●Facebook: 浦野さとみ



新型コロナ対策が前進 約23億円の補正予算(第7次)

10月13日に終了した中野区議会第3回定例会では、今年度、第7次となる補正予算が提案され、全会一致で可決。新型コロナウイルス対策関連の施策が前進しました。この間、区民・区内事業者の皆さんなどから要望の高いものをはじめ、日本共産党区議団

が申し入れや議会質問などで提案してきたものも多数、盛り込まれました。約23億円の補正予算の主な内容は下記の通りです。2019年度決算で剰余金となった約18億8千万円と中野区の財政調整基金約4億7千万円を財源としています。

■PCR検査等準備金(1医療機関50万円)

※PCR検査等を実施する診療所に補助金を支給



■新生児特別定額給付金(1人5万円)

※国の特別定額給付金(1人10万円)の対象にならなかった4月28日～2021(令和3)年4月1日に生まれ、中野区に住民登録した新生児が対象



■特例給付金(1人10万円)

※国の特別定額給付金の申請期間中に(8月18日×切)、病院や施設等に長期入院・入所していた方および海外に滞在し申請できなかった方が対象

■プレミアム付商品券(プレミアム率30%)

※5000円で6500円分の商品券を発行し区内の消費喚起・商店を支援



■給食事業者支援

※区立小中学校臨時休校中、学校給食の中止によって影響を受けた給食食材納入業者へ補助

■修学旅行キャンセル料補助

※保護者が負担する旅行事業者へのキャンセル料の補助

2021年度予算 要望書提出

8月下旬～10月上旬、区内の様々な団体の皆さんと懇談の機会をいただきました。また、現在、区議団で取り組んでいる区民・事業者アンケートは、10月16日現在、3700を超える回答が寄せられ、切実な声が届いています。これらを来年度予算編成に対する要望書にまとめ、10月15日、区長へ提出しました(写真)。今後の政策提案にも、必ずいかしていきます。引き続き、声をお寄せ下さい。



▲アンケートフォーム



東中野・本町図書館廃止 党区議団は反対



中野区内には、現在8か所の地域図書館があり、中央図書館とあわせ9館体制です。区は今後、新設の区立学校内に地域開放型図書館を配置する計画です。今議会に提出された議案は東中野と本町の両地域図書館を廃止し、中野東図書館と地域開放型学校図書館3館を設置するものです。

地域図書館は身近で気軽に利用できる場所として大きな価値があります。東中野と本町の両図書館の年間個人貸出冊数は37万冊を超え、地域になくてはならない場所です。地域開放型学校図書館は学校内を不特定多数の方が出入りすることでセキュリティ面やコロナ禍での感染症対策面で学校現場や保護者からは不安の声があがっています。



▲本町図書館



▲東中野図書館

今回の方針は区が設置した検討会や区民からの意見を踏まえたものではなく、見直すことが必要でした。党区議団・小杉区議が本会議でおこなった反対討論全文は区議団のホームページに掲載しています。(右 QR コードでアクセスできます)



日本共産党提案 全会一致で可決 「少人数学級の実施を求める意見書」

日本共産党は今議会において「少人数学級の実施」「PCR 検査体制の拡充」「羽田空港新飛行ルート of 再考」「給付型奨学金制度の拡充」を求める4つ意見書を提案しました。このうち「少人数学級の実施を求める意見書」が全会一致で可決されました。これは画期的です。意見書では、少人数学級実施のための環境整備や教員定数の再考などを明記。中野区での具体化は示されていませんが、これまでに提案した空き教室・校舎の活用なども早急に検討すべきです。



▲PCR 検査体制の拡充を求める意見書を提案

医療的ケア児等の在宅レスパイト事業 区独自の対応で、上限時間を拡充へ



本事業は、在宅生活を送っている医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)に対し、訪問看護師等がご家族の代わりに医療的ケアや食事・排泄の介助等を行うことで、ご家族の一時休息(レスパイト)や負担軽減等を図る目的で実施されています。1カ月4回までという回数上限は今年度に限り、東京都が見直しをしています。年間利用上限の96時間についても、改善を求める相談が寄せられていました。

6月議会でこの声を取り上げ、区は実態調査を行うことを約束。調査を経て、今回、区独自の対応として利用上限時間を120時間へ拡充することが委員会に報告されました。当事者の声が区政を動かしました。引き続き、実態にもとづき、更なる拡充を求めていきます。

コロナの影響で売上減 持続化給付金・家賃支援給付金

「9月の売上が減少したので給付金の申請をしたい」との相談が多数、寄せられています。上記2つの給付金は、今年12月までが対象月です。

2021(令和3)年1月15日が申請期限です。

東京都の家賃等支援給付金制度もあります。他の支援制度も含め、お気軽にご相談下さい。



浦野さとみ プロフィール

1980年千葉県松戸市生まれ(40才)。2003年3月、千葉医療福祉専門学校・作業療学科卒。同年4月、作業療法士として中野共立病院・リハビリ室入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月、8年間勤めた病院を退職し、中野区議会議員選挙立候補、初当選。現在、3期目(総務委員会、地域包括ケア推進調査特別委員会に所属)。趣味:竹富島への旅行、ゆずのライブへ行くこと、ソフトボール・野球。



地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。

弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。

(弁護士による無料法律相談も実施中です)

